



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

地域奉仕・環境事業通信第3号



2016年3月11日発行
2015～2016 地域奉仕・環境主任
川上孝司（京都パレスクラブ）

[Will The Circle Be Unbroken].

The earliest of mankind on earth had music with energy.
HAND IN HAND 共に生きる

今期もあと4か月足らずとなりました。皆様の各クラブを通しての素晴らしい活動、ご奉仕に心から敬服いたします。

(ワイズメンズクラブ国際協会西日本区阪和部)

東日本大震災から5周年の集い

【主旨】未曾有の大災害と言える東日本大震災から5年の節目を迎える今年、内なる情報から原点を見つめ直し、これから出来る事を考えたいと思います。……をテーマに3月5日(土)大阪南YMCAにおきまして東日本大震災から5周年の集い「離れていても心は一つ」(猪瀬ワイズ名言)が行われました。



1部では「3.11東日本大震災の真実」DVDビデオが映写されました。

地震発生直後に襲ってくる津波に飲まれていく町の悲惨な映像に全員が涙しました。あまりにも大きな自然の力、その環境の中に私たちは生きていることをあらためて感じさせられました。



2部では「小さな町を呑み込んだ巨大津波」と題して大震災直後の2011年5月から、宮城県山元町語り部の会の方々が、避難所で被災者から聞き取った貴重な記録集から5つの記録を飯沼 眞、濱田勉、土肥正明ワイズ、林 夏代阪和部メネット事業主査、林 成子メネットの方々による朗読が披露されました。



3部では元YMCA宮古ボランティアセンター長池田勝一様による「被災地

のその後」をテーマにお話しされました。震災当時のボランティアセンターの立ち上げから今日までお話しをお聞きすることが出来ました。当時2万人以上いたボランティアも今は数百人程度になっている状況で、まだまだ復興にボランティアを必要としている中、忘れ去られつつある状況であることを知りました。



遠藤西日本区理事からも東日本大震災復興をテーマとした「第19回西日本区大会」のアピールを力強くされました。



東日本大震災から5年という時が流れました。時間と共に記憶は風化していく中、現地では未だ形は変わったとせよ未だ被災地であります。

私からも当時のことを思い出しながら記憶を文章にしてみました。

あの時から私の地域奉仕・環境活動が始まった。

思い出せば2011年3月11日の事私の会社の6階で関西圏の代理店ミーティングを終え挨拶をしているときだった。急にみんながざわめきだした。「地震ですよ！」前日にソルトトラックより出張帰りの私は朝から時差ボケで体がふわふわと宙に浮いた状態だった。気が付くと時差ボケによるふらつきではなく確かにビルからの外の景色を見ると大きくゆっくり揺れている。その時初めて地震であることを認識した。テレビのスイッチを入れると東北で地震が起こったことを伝えている。その時点では京都にいる私たちには大変なことが起きたことは



解るが津波のことは全く想像もしていなかった。その夜ニュースによりとんでもないことが

起こったことを知った。翌日から仕事が手につかない。何かしなくてはならない。ワイズの支援街頭募金にも率先して立った。しかし何か落ち着かない。私に出来ることはなんだろう。考える中「ストーブを作ろう」「現地に送ろう」。しかし1台40万円もするストーブを送ることは現実的、実用性を考えて不可能。すぐさま被災地で使える実用的かつローコストの物



をと設計を始めた。2か月後ほぼ設計図が完成した。特許出願後6月に60台のストーブが完成。しかし当時東北への流通はマヒ状態で現地へ物

を送ってもらう手段がない。「なら俺たちで運ぼう！」。トラックにストーブを積み込み私は現地に向かった。

15時間高速道路をひたすら北へ。目指すは宮古市役所。途中陸前高田、釜石、大槌町を走り抜けた。至る所に大きな水たまりが出来、まだたくさん



さんの車が水没していた。窓が開けられないくらい回りに異臭が漂う。何処までも続く平地にコンクリート基礎だけの風景が続く。津波が襲ってくる前まではたくさんの建物が立ち並び多くの人たちが語り、笑い声が聞こえていたのだろうな。そんな思いで現地の記録を残そうとカメラを構えるが、持つ



が手が震えてシャッターが切れない。おまけに訳が分からず涙がボロボロこぼれてくる。……………

再び過去か未来か不思議な風景の中、車を走らせ宮古へ向かう。全く人の気配のない中いきなり道路に乗り上げた大型貨物船に遭遇した。自然の力のすごさに圧倒された。……………あれから早5年という時が過ぎようとしている。現地では未だ深い傷跡を残している。

The earliest of mankind on earth had music with energy. (主任主題)

ワイズ活動を通し、人と自然環境との関係に目を向けそして人と人との友情の輪を大切にしたい。私たちのこの絆は永遠に続く。今期西日本区地域奉仕・環境主任として務めさせていただき皆様のサポートをさせていただくことに誇りを感じる。

[Will The Circle Be Unbroken] 私たちの絆は永遠です。



ロールバックマラリア献金に 対する理解を！

姫路グローバル・姫路クラブ合同例会においてロールバックマラリアの卓話の依頼を受け訪問してまいりました。姫路グローバルクラブは東日本震災復興支援等で現地へ何度も足を運び活動されておられます。



この度ロールバックマラリア運動に積極的に取り組む思いを持って私どもお声掛け頂きました。魚住美穂会長、山本和生会長の地味な奉仕活動の一つ一つこなしておられるワイズメンの力強さを感じる例会でした。



福永瀬戸山陰部主査、魚住会長のお力をお借りしロールバックマラリア寸劇を行ってまいりました。真剣に取り組んでいただきました。感謝！